

Let's くみあい
高教組
2面 教職員 健康診断結果より
教育実践 進士竜太郎 (下)

しずおか 高教組しんぶん

第359号
2011年
9月15日

発行所
静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyouso.jp/
e-Mail info@s-koukyouso.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています



三上湖西市長



根本福島農民連事務局長



①開会あいさつをする林県評議長
②駿府公園を埋めつくした参加者、5000枚の案内ビラはすべて配布されました

浜岡原発廃炉に五千人

全国各地でも原発ゼロに次々と大集会

猛暑の7月23日、静岡市の駿府公園は5千人もの人々の熱気に包まれました。「浜岡原発の永久停止・廃炉を求める静岡県大集会」(ひまわり集会)です。福島原発の深刻さが増す事象を見て「黙ってはいられない」思いに駆られました。

「声を大にして廃炉に」と三上湖西市長
県内の市長や市議会議長の6名の方々もメッセージや賛同の声を寄せました。三上市長は「浜岡原発は直下型地震が襲うところだ。声を大にして廃炉にせよと呼びかけましょう」と訴え、大きな共感の拍手に包まれました。福島県農民連の根本事務局長は、原発事故の恐ろしさを切々と訴え、原発による被災者を二度と生まないためにたたかう決意を述べました。日本共産党の志位委員長は原発事故の異質な危険性を指摘し「原発ゼロの声を静岡から世界に広げよう」と呼びかけました。



今年度人事院勧告は、震災などの影響で例年より一ヶ月以上遅れ、9月27日ごろと言われている。勤告をめぐる状況として、中央最低賃金審査会の答申が10円以下(静岡は3円)と低く抑えられたり、「給与構造改革」による大幅な給与削減に対して、激変緩和措置として行われてきた現給保障を12年4月から廃止する意向が示されています。実施されると主に50歳代を中心に大幅な給与削減になります。継続を求める取り組みは重点課題です。高教組は、給与水準改善、諸手当削減阻止、地域手当・通勤手当引き上げ、現給保障継続等を重点課題に、県人事委員会との交渉を強めていきます。

11人勸 60歳前の7割水準の給与 現給保障の廃止も



パレードに参加した組員

パレードに手を振る市民
集会後、参加者は3コースに分かれ「なくそー!浜岡原発」などと市民に訴えながらパレードしました。街頭から手を振る人、車から共感のクラクションで応える姿も見られました。高教組は集会やパレードの案内要員など50人を超える組員・家族が参加し、OB・OGの姿も数多く見受けられました。

子どもの教育と安全を守ろう

～福島から報告～
＜教育署名スタート集会＞
9月3日(土)に静岡市で「教育全国署名・静岡県スタート集会」が開かれ、福島県立高教組の齋藤毅さんが「今、福島の子供たちは」と題して講演を行いました。地震・津波・原発事故・風評被害の四重苦の中にある福島県。特に放射能汚染は深刻です。他校に間借りしての劣悪な教育環境、「戻れるのか」の不安の中で、生徒も教職員も奮闘しています。齋藤さんは「福島と静岡から『脱原発』の声を上げましょう」と訴えました。

視座

この夏休みも、ステイション。どこにもいかず、うちでダラダラと。観光地へ出かけて、混んで、疲れて帰って来れば、2学期の業務に差し障ってしまいますからと、マンガを買ったんです。子どものころに読んだマンガをもう一度、どうしても読みたくなくて。ネットオークションで見つけ、競り落としました。もちろん、全巻一気に、大人買い!「サバイバル」さいつたかを作。日本に大地震が起これ、津波も押し寄せ、すべての街が壊滅状態、ライフラインが完全に失われます。そこに、たった一人、生き残った少年がサバイバルするという物語。クルラーはあきらめ、ベランダに水打ちをして、扇風機の風に当たりながら、一気読み!子どもの時の感動が、あの震災後というにもあり、何倍にもなって蘇りました!少年は、苦勞して、智慧を絞り、水を得て、動物を狩り、草まで食べ、様々な出会いをして、逞しく成長していきます!読了した現在、毎日、感謝して居るんです。屋根があること、蛇口から水が出ること、食べ物があること、そして、電気がつくことに!▲昨夏、筆者をインタビューした言葉。「やればできる」▲そう、節電にも挑戦。暑ければ暑いなりに、暗ければ暗いなりに、暮らして、多少の時間は惜しまず、この夏、三三%の削減に成功!▲そう、やればできるんです。この気持ち忘れず、今学期のぎざぎざと思いませんか。まずは学校があることに、同僚や生徒がいることに、組合があることに感謝感謝。

主張

9月2日野田佳彦新内閣が発足しました。民主党政権の2年間で3人目、自民政権下を含めると5年間で6人目の首相が誕生したことになります。

野田新内閣の政治姿勢

「翼賛政治」と「構造改革路線」への回帰

新政権に対する評価は政治姿勢と政策などに待つこととなりますが、首相とは首から上の質が「違う」と褒めちぎり、手放して歓迎しています。「ミスター増税」と呼ばれている新首相は、復設の日米合意優先の立場

リームの実現だ」「菅前首相とは首から上の質が「違う」と褒めちぎり、手放して歓迎しています。「ミスター増税」と呼ばれている新首相は、復設の日米合意優先の立場

減税の実施、TPP（環太平洋連携協定）推進、原発再稼働容認の方向も示しています。沖縄基地は辺野古移設、新基地建設の方向性は相容れな

「構造改革路線」に回帰し、国民不在の「翼賛政治」がすすめられるのではないかと危惧の声を上げています。震災から6ヶ月、遅々

としてすまない復旧・復興、国民生活のあらゆる分野で深刻な危機が進行するなか、競争と自己責任の「構造改革路線」への回帰は、国民の願いに背き、被災地の復旧や国民生活にさらに深刻な打撃を与えるものとなります。国民生活第一と訴え、国民生活を守り、願いと期待を受けて2年前民主党政権は発足しました。被災者の願う震災復旧・復興に向けて、「連帯と共同」の政治が今もっとも求められています。

「翼賛政治」と「構造改革路線」への回帰は、国民の願いに背き、被災地の復旧や国民生活にさらに深刻な打撃を与えるものとなります。国民生活第一と訴え、国民生活を守り、願いと期待を受けて2年前民主党政権は発足しました。被災者の願う震災復旧・復興に向けて、「連帯と共同」の政治が今もっとも求められています。

いのではないかと懸念を指摘せざるを得ません。組閣前から財界総本山・日本経団連などの「財界詣で」をし、米倉弘昌会長は「ジャパンド

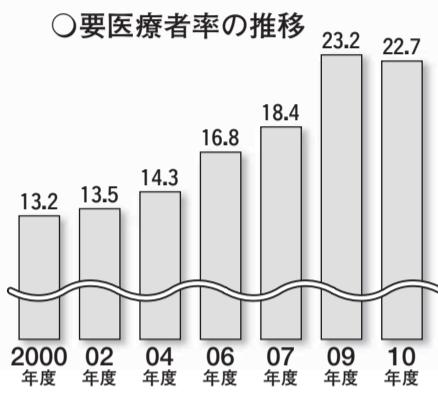
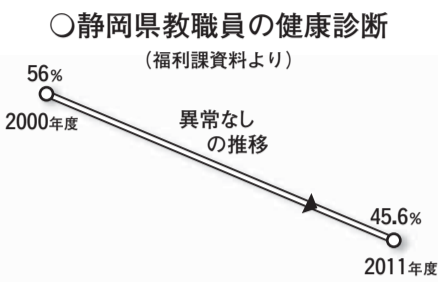
興と社会保障を名目とした消費増税に強い意欲を持ち、来年3月までに法案提出の方針を明らかにしています。また財界の強い要望である法人税

閣では財界主導、アメリカ追従の「自民政権」

としてすまない復旧・復興、国民生活のあらゆる分野で深刻な危機が進行するなか、競争と自己責任の「構造改革路線」への回帰は、国民の願いに背き、被災地の復旧や国民生活にさらに深刻な打撃を与えるものとなります。国民生活第一と訴え、国民生活を守り、願いと期待を受けて2年前民主党政権は発足しました。被災者の願う震災復旧・復興に向けて、「連帯と共同」の政治が今もっとも求められています。

健康で働ける教育行政に

静岡県教職員の健康診断結果より



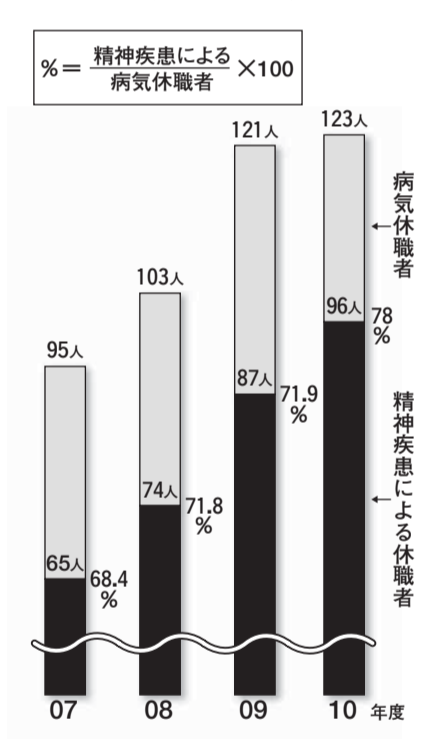
急増する精神疾患 県立は3校に2名が休職、特休

「精神疾患」による休職者の急増は深刻です。07年度の65人から10年度は96人と、3年で1.5倍です。30回以上の「特休」を含めると、10年度は225人のほりま。

特休をとらなくても、苦しい精神状態でかろうじて勤めている人が更に多いことは明らかです。ストレスを増す管理体制の強化と超多忙の勤務実態が大きな要因であることは明白です。県教委は教職員が心身とも健康で働ける体制を整える教育行政に取り組むべきです。

「治療を必要とする」教職員（要医療者）は、昨年度22.7%、約4人に1人となり、10年前の1.7倍と急増しています。「異常なし」は56%から45.6%に減っています。「経

静岡県教職員の精神疾患による病欠休職者の推移



健診別の要医療者率の変化（全体）は10年前と比較すると、一般健診で1.4倍、人間ドックで1.6倍。倍、人間ドックで1.6倍。年代別（県立学校と事務局）でも30代以下で1.2倍、40代以上で1.3倍です。県

因として高齢化を挙げていますが、得た指摘とはいえません。また、年間紙面審査賞も、富士高・藤枝東など県内5校と共に「優良賞」を受賞しました。さて、震災の事についても触れたいと思います。

県教委 人間ドック 高齢化を 挙げるが...

変化（全体）は10年前と比較すると、一般健診で1.4倍、人間ドックで1.6倍。倍、人間ドックで1.6倍。年代別（県立学校と事務局）でも30代以下で1.2倍、40代以上で1.3倍です。県

因として高齢化を挙げていますが、得た指摘とはいえません。また、年間紙面審査賞も、富士高・藤枝東など県内5校と共に「優良賞」を受賞しました。さて、震災の事についても触れたいと思います。

教育実践 高総文祭で優秀賞 定時制で学校新聞を発行して(下)

磐田南高定時制 進士竜太郎

さて、新聞部門の主な活動は、交流新聞作りです。初日に班編成。2日目に3コースに分かれ、バスに乗って現地取材。本校は、女子1名が「鶴ヶ城と御菜園（藩主別邸を兼ねた菜草園）」コースに参加。会津の歴史を暑さに負けず堪能してきました。

「城が燃える」 飯盛山を訪ねて 8月3日～5日、福島県会津若松市にて第35回全国高等学校総合文化祭が開催されました。ここ会津では、新聞（会津大学にて）・写真・小倉百人一首かるた・吟詠剣詩舞、そして郡山市で開催される予定だった総合開会式が会津風雅堂に変更されました。

また、年間紙面審査賞も、富士高・藤枝東など県内5校と共に「優良賞」を受賞しました。さて、震災の事についても触れたいと思います。



高総文祭総合開会式の様子。左から、三重、滋賀、静岡の代表者が挨拶している。

は、100名を超えたといえます。また持参した「はかるくん」で大学構内の樹木下の草を測定。数値は、0.34マイクログラム。会津の中のホットスポットでした。

(了)